

技術資料 #68

製品情報

ドラフト測定器

煙突のトラブルの解決にはドラフト測定器が必要不可欠です。

そして、最初にチェックするものの一つが煙突中のドラフトです。

ハースストーン社では、簡単で性能も確かなドラフト計をディーラーに提供できるようご用意しました。

サイズも小さいので、持ち運びに便利です。

製品番号 90-99000



ドラフトは薪ストーブを走らせるエンジンです。また、そのドラフトを作成することは煙突の責任です。

EPA は、バッフルを持つ非触媒方式のストーブを承認しました。バッフルはいくつかの機能を持っていますが、そのうちの一つは排気ガスを正しい方向に移動させる役割を持っています。

従って、バッフルをカットしたり修正したりしないでください。

何人かの専門家は、バッフルの中央に穴を開けることによって、ドラフトがよくなるであろうと解釈しますが、実際にはバッフルに穴を開けると、炉の正面に多くの圧力を引きつけ、悪い状況をさらに悪化させることになります。

ストーブに問題がなければ、煙突をチェックします。

技術資料 # 58 を参照しすべての項目をチェックしてください。

6 8 ドラフト計・取扱説明書

- ① 1/4 インチ(6.3 ミリ)の穴を、煙突の裏側に開けます。高さは煙突の口元から300～450mmの位置、エルボ部分には開けないでください。
- ② ゴム管にL字アングルを繋ぎ、メーターの中央にゴム管を接続してください。
- ③ ストーブを着火します。
- ④ メーターは両面異なるスケールをもっています。赤いスケールは速度を測定し、黒いスケールはドラフトを測定します。メーターを垂直に持ち、ストーブの煙突の穴にL字アングルを差込みます。白いボールの高さを観察し、メーターを読んでください。低い数値は 0.005～0.09”w.c までのドラフトを測定します。高い数値はメーターの右上の穴を指でふさぎ測定します。側面の小さい穴をふさがないように、注意してください。高い数値は、0.05～1.0“w.c までのドラフトを測定します。
- ⑤ 結果を#21をみて比較してください。
- ⑥ 煙突からL字アングルを抜いてください。注意: 熱いので気をつけてください。
- ⑦ 煙突の穴に同封のプラグ(あるいはネジ)を挿入してください。